



## 安全データシート (SDS)

## 1. 製品及び会社情報

昭和化学株式会社  
東京都中央区日本橋本町4-3-8  
担当

TEL(03)3270-2701  
FAX(03)3270-2720  
緊急連絡 同上  
改訂日 2018/03/28  
SDS整理番号 03445359

製品等のコード : 0344-5359  
製品等の名称 : クレオソート  
推奨用途 : 試薬

参考：その他の用途(当該製品規格に限定されない一般的な用途。規格により用途は相違。)  
カーボンブラック原料、木材防腐用、消毒剤 など



## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性  
引火性液体 : 区分4

健康に対する有害性  
急性毒性(経口) : 区分4  
発がん性 : 区分1B

環境に対する有害性  
水生環境急性有害性 : 区分1  
水生環境慢性有害性 : 区分1

注意喚起語 : 危険

## 危険有害性情報

可燃性液体  
飲み込むと有害(経口)  
発がんのおそれ  
水生生物に非常に強い毒性  
長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

## 注意書き

## 【安全対策】

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。 - 禁煙。  
取扱い後は、よく手を洗うこと。  
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。  
環境への放出を避けること。

## 【応急措置】

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。  
漏出物を回収すること。

## 【保管】

日光を避け、容器を密閉し換気の良い冷暗所に施錠して保管すること。

## 【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

(注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「分類対象外」、「分類できない」又は「区分外」である。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 化学名、製品名	: 混合物 クレオソート (別名) オクレオソート、ウッドクレオソート (英名) Creosote
成分及び含有量	: 混合物のため、特定できない。 ブナやマツなどの原木を炭化したときに出る煙を冷却し、液化して静置すると木(もく)タールが得られる。
構造式 分子量	: 混合物のため、特定できない。 混合物のため、特定できない。
官報公示整理番号 化審法	: (9)-1735
CAS No.	: 8001-58-9
EC No.	: 232-287-5
危険有害物質	: クレオソート ・労働安全衛生法 通知対象物 政令番号 140 表示対象物 政令番号 140 ・消防法 危険物第4類引火性液体 第三石油類 非水溶性

### 4. 応急措置

吸入した場合	: 呼吸が困難になった時は、新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 皮膚を多量の水と石鹸で洗う。 皮膚刺激などが生じた時は、医師の診断、手当てを受ける。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯する。
目に入った場合	: 水で15分以上注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。 目の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受ける。
飲み込んだ場合	: 直ちに、口をすすぎ、つがいをする。 大量の水を飲ませ、指を喉に差し込んで吐かせる。 意識がない時は、何も与えない。 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受ける。

予想される急性症状及び遅発性症状： 情報なし

### 5. 火災時の措置

消火剤	: 本製品は可燃性、引火性であり、燃焼しやすい。 粉末、二酸化炭素、泡(耐アルコール泡)、水噴霧
使ってはならない消火剤 特有の危険有害性	: 大火災の場合、空気を遮断できる泡消火剤が有効である。 棒状注水(本品があふれ出し、火災を拡大するおそれがある。) 可燃性物質：燃えるが、容易に発火しない。 加熱により容器が爆発するおそれがある。
特有の消火方法	: 火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火を行う者の保護	: 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。 適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。 漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。 風上に留まる。低地から離れる。 密閉された場所は換気する。
環境に対する注意事項	: 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。 環境中に放出してはならない。
回収、中和	: 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。 少量の場合、吸収したものを集めるとき清潔な帯電防止工具を用いる。
封じ込め及び浄化の方法・機材 二次災害の防止策	: 危険でなければ漏れを止める。 すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火災の禁止)。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策	: 裸火禁止、火花禁止、禁煙。強力な酸化剤との接触禁止。
--------------	------------------------------

	引火点(74 )以上で使用する場合は、工程の密閉化および防爆型換気装置を使用する。 ミスト、蒸気、ガスの発生を防止する。 指定数量以上の量を取扱う場合、法で定められた基準に満足する製造所、貯蔵所、取扱所で行なう。 指定数量以上の危険物を貯蔵し、取り扱う場合は消防法に基づく許可が必要で、危険物貯蔵所に保管する。 指定数量の1/5以上、1未満(少量危険物)の場合も、少量危険物貯蔵所に保管し、法の規制を受け、最寄の消防署に届出を行う必要がある。 指定数量の1/5未満の危険物の貯蔵・取り扱いについては届出の必要はない。 炎、火花または高温体との接触を避ける。 静電気対策を行い、作業衣、靴等も導電性の物を用いる。 本製品を取扱う場合、必ず保護具を着用する。
局所排気・全体換気 安全取扱い注意事項	: 防爆型の換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行なう。 : すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 火気注意。 接触、吸入又は飲み込まない。 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行う。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。 取扱い後はよく手を洗う。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用する。 環境への放出を避ける。
接触回避 保管 技術的対策	: 炎、火花または高温体との接触を避ける。 : 保管場所は壁、柱、床等を耐火構造とする。 保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量不燃材料でふき、かつ天井を設けない。 保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適切な傾斜をつけ、かつ、適切なためますを設ける。 保管場所で使用する電気器具は防爆構造とし、器具類は接地する。
保管条件	: 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管する。 光のばく露や高温多湿を避けて保管する。 容器を密閉して換気の良い冷暗所に保管する。 一定の場所を定めて、施錠して保管する。 貯蔵する所には、「火気厳禁」の表示を行う。 混触危険物質、食料、飼料から離して保管する。
混触危険物質 容器包装材料	: 酸化剤 : ガラスなど

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	: 設定されていない。
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標):	日本産衛学会(2017年版) 設定されていない。 A C G I H (2017年版) TWA 5ppm, STEL 10ppm
設備対策	: この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。 ミスト、蒸気、ガスが発生する場合、換気装置を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具	: 呼吸器保護具(有機ガス用防毒マスク)を着用する。
手の保護具	: 保護手袋(ネオプレン製、シリコン製、ポリウレタン製など)を着用する。
眼の保護具	: 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)を着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 長袖作業衣を着用する。 必要に応じて保護面、保護長靴を着用する。
衛生対策	: この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。 取扱い後はよく手を洗う。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 保護具は保護具点検表により定期的に点検する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など	: 無色～褐色、油状の液体
臭い	: 特徴的な臭気
pH	: データなし
融点	: データなし
沸点	: 200-220
引火点	: 74
爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度(空気=1)	: データなし
比重(密度)	: 1.08 g/cm <sup>3</sup> (20 )

溶解度 : 難溶(水)  
 エタノール、エーテル、グリセリンに混和。  
 オクタノール/水分係数 : データなし  
 自然発火温度 : データなし  
 分解温度 : データなし  
 粘度 : データなし

GHS分類  
 引火性液体 : 引火点74 は > 60 かつ 93 であることから、  
 区分4とした。  
 可燃性液体(区分4)

#### 10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の取扱条件においては安定である。  
 光のばく露により変質する。  
 危険有害反応可能性 : 酸化剤に触れると反応する危険性がある。  
 塩化ビニル樹脂、ポリスチレンを侵す。  
 避けるべき条件 : 日光、熱  
 混触危険物質 : 酸化剤  
 危険有害な分解生成物 : 燃焼すると、有毒なフューム(一酸化炭素)を生成する。

#### 11. 有害性情報

急性毒性 : 経口 ラット LD50データ = 725mg/kg(RTECS)  
 マウス LD50データ = 433mg/kg(RTECS)  
 のデータから、区分4に分類した。  
 飲み込むと有害(経口)(区分4)  
 経皮 データがないため分類できない。  
 吸入(蒸気) データがないため分類できない。  
 吸入(ミスト) データがないため分類できない。  
 皮膚腐食性・刺激性 : データがないので分類できないが、皮膚刺激のおそれがある。  
 眼に対する重篤な損傷・刺激性 : データがないので分類できないが、眼が刺激される可能性がある。  
 呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 呼吸器感作性 : データがないため分類できない。  
 皮膚感作性 : データがないため分類できない。  
 生殖細胞変異原性 : 知見がないため分類できない。  
 発がん性 : 産衛学会・2Aの判定結果から、区分1Bに分類した。  
 発がんのおそれ(区分1B)  
 生殖毒性 : データがないため分類できない。  
 特定標的臓器・全身毒性  
 (単回ばく露) : 情報がないため分類できない。  
 特定標的臓器・全身毒性  
 (反復ばく露) : 情報がないため分類できない。  
 吸引性呼吸器有害性 : 情報がないため分類できない。

#### 12. 環境影響情報

水生環境急性有害性 : 甲殻類(ミシッドシュリンプ)の96時間LC50=0.018mg/L から、  
 区分1とした。  
 水生生物に非常に強い毒性(区分1)  
 水生環境慢性有害性 : 急性毒性が区分1、急速分解性及び生物蓄積性が不明であるため、  
 区分1とした。  
 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性(区分1)  
 オゾン層への有害性 : 本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていない  
 ため、分類できないとした。

#### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。  
 都道府県知事などの許可(収集運搬業許可、処分業許可)を受けた  
 産業廃棄物処理業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付  
 して廃棄物処理を委託する。  
 廃棄物の処理にあたっては、処理業者等に危険性、有害性を充分告知  
 の上処理を委託する。  
 本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、  
 そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。  
 (参考)燃焼法  
 可燃性の溶剤等と共に噴霧するか、又はケイソウ土、木粉(おが屑)  
 等に吸収させて、アフターバーナー及びスクラパー付き焼却炉の火室  
 で焼却する。  
 汚染容器及び包装 : 内容物により汚染された容器及び包装材は、関連法規の基準に従って  
 適切に処分する。  
 空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後、産業廃棄物処理業者  
 に処理を委託する。

## 14. 輸送上の注意

緊急時応急処置指針番号 : 171

### 国際規制

海上規制情報 (IMDGコード/IMOの規定に従う)

UN No. : 3082  
Proper Shipping Name : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.  
Class : 9 (有害性物質)  
Sub risk : -  
Packing Group : III  
Marine Pollutant : Yes (該当)

少量危険物許容量 : 5L

航空規制情報 (ICAO-TI/IATA-DGRの規定に従う)

UN No. : 3082  
Proper Shipping Name : Environmentally hazardous substance, liquid, n.o.s.  
Class : 9  
Sub risk : -  
Packing Group : III

### 国内規制

陸上規制情報 (消防法、道路法の規定に従う)

海上規制情報 (船舶安全法/危険物船舶輸送及び貯蔵規則/船舶による危険物の運送基準等を定める告示に従う)

国連番号 : 3082  
品名 : 環境有害物質 (液体)  
クラス : 9  
副次危険 : -  
容器等級 : III  
海洋汚染物質 : 該当  
少量危険物許容量 : 5L

航空規制情報 (航空法/航空法施行規則/航空機による爆発物等の輸送基準を定める告示に従う)

国連番号 : 3082  
品名 : 環境有害物質 (液体)  
クラス : 9  
副次危険 : -  
等級 : III

少量輸送許容量物件 : 30kg (包装込みの質量)

### 特別の安全対策

危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒しもしくは破損しないように積載すること。  
危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。  
危険物の運搬中危険物が著しく漏れる等災害が発生するおそれがある場合には、災害を防止するための応急措置を講ずると共に、もよりの消防機関その他の関係機関に通報すること。  
輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。  
重量物を上積みしない。  
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。  
必要に応じ移送時にイエローカードを運搬人に保持させる。

## 15. 適用法令

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (政令番号 第140号「クレオソート油」、対象重量%は 0.1)  
名称等を表示すべき危険物及び有害物 (政令番号 第140号「クレオソート油」、対象重量%は 0.1) (別表第9)  
化学物質排出把握管理促進法 : 非該当  
毒物及び劇物取締法 : 非該当  
消防法 : 危険物第4類引火性液体、第三石油類、非水溶性液体、指定数量2000L、危険等級 (法第2条第7項危険物別表第1)  
船舶安全法 : 有害性物質 (危規則第2,3条危険物告示別表第1)  
航空法 : その他の有害物件 (施行規則第194条危険物告示別表第1)

## 16. その他の情報

(注) 本品を試験研究用以外には使用しないで下さい。

### 参考文献

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社  
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2007)

化学物質の危険・有害便覧	中央労働災害防止協会編	
化学大辞典	共同出版	
安衛法化学物質	化学工業日報社	
産業中毒便覧(増補版)	医歯薬出版	
化学物質安全性データブック	オーム社	
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編)	三共出版	
化学物質の危険・有害性便覧	労働省安全衛生部監修	
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances	NIOSH	CD-ROM
GHS分類結果データベース	nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)	HP
GHSモデルMSDS情報	中央労働災害防止協会	安全衛生情報センター HP

---

このデータは作成の時点においての知見によるものですが、必ずしも十分ではありませんし、何ら保証をなすものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。なお、この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253:2012に準じ作成しています。